

「えらべるメール・ケータイ版」ライセンス提供のお知らせ

“モバイルナンバーポータビリティ”11月スタートに先がけ メールアドレスもそのまま引継ぎ可能！ 『ケータイアドレス ポータビリティ』

株式会社インターリンク（東京都豊島区 代表取締役：横山正）が、「ケータイアドレスポータビリティ」（商標申請中）のライセンス提供を開始する。このサービスは同社の「えらべるメール・ケータイ版」（特許申請中）で利用している技術を他社にも提供するもので、11月から開始される携帯電話会社の変更に関わらず番号が引継ぎ可能になる「モバイルナンバーポータビリティ」（以下、MNP）の導入に向けて、需要が高まると予想される。

最大の障壁となるメールアドレスの引き継ぎ・・・

いよいよ今年11月からMNPが施行される。「番号を変えたあと、周囲の人に告知するのが面倒だ」という理由で、他社に魅力的なプランや新機種があっても、機種変更をあきらめざるをえなかった利用者にとっては、待ちに待った画期的な制度といえる。

携帯電話会社各社にとっても、より公平で自由な競争ができるようになると期待されている。とりわけドコモユーザーが、利用者の支持を多く集めているauに移行するのではないかと、ということは以前からマスコミでも取り上げられているところだ。しかし携帯利用者の約70%が、携帯のメールアドレスが変更されることで、このMNP利用を躊躇している。「番号が変わらなくても、またメールアドレスを周囲の人に知らせなくてはいけない.....」と結局、MNPが導入される以前に抱いていたことと、ほぼ同じ理由で変更をためらってしまう人が多いことになる。
このためメールアドレスの引継ぎ問題は、MNP最大の障壁となると懸念されている。

メールアドレスも引継げる新たなサービスとしてライセンス提供が可能に

この問題をクリアできるとして注目されているのが、インターリンクの提供するサービス「ケータイアドレスポータビリティ」である。「えらべるメール・ケータイ版」のシステムを利用することで、キャリア変更後も番号とメールアドレスをそのまま引継ぐことが可能となる。MNP導入に向けて、この技術の利用は一層拡大されることが見込まれることから、インターリンクは他社へのライセンス提供を決めた。

MNPの導入に向けて、他社もメールアドレスの引き継ぎをwebメールで解消しようとしているものの、それでは相手がメールを送ったタイミングにメールを受け取ることができない。インターネットにアクセスしなくてはならないので、どうしてもタイムラグが生じてしまう。またそれが気になるあまり、何度もアクセスしてメールチェックをするということにもなりかねない。

その点「ケータイアドレスポータビリティ」は通常のメール受信と変わらないので、今までと同じようにタイムラグなくメールを受け取ることができるので、余計な心配はしなくてもすむのだ。これらを鑑みても、「ケータイアドレスポータビリティ」の利用価値は高いといえるだろう。

「えらべるメール・ケータイ版」...<http://www.eraberumail.jp/service/keitai.html>